

公開シンポジウム

「大型野生動物学と人類学のGPS・生体情報計測研究の最先端と今後の課題」（ハイブリット開催）

日時：2023年11月4日（土）13時～17時

会場：ラッセホール B1階 リリー <https://www.lassehall.com>
神戸市中央区中山手通4-10-8

参加費：無料（要参加申込み、11/1（水）17時まで）

▶申込みフォーム

日本語 https://sociality.aa-ken.jp/announcement/gps_symposium_jp/

English https://sociality.aa-ken.jp/announcement-en/gps_symposium_en/

* zoom上では日英通訳が利用できます。

参加申込



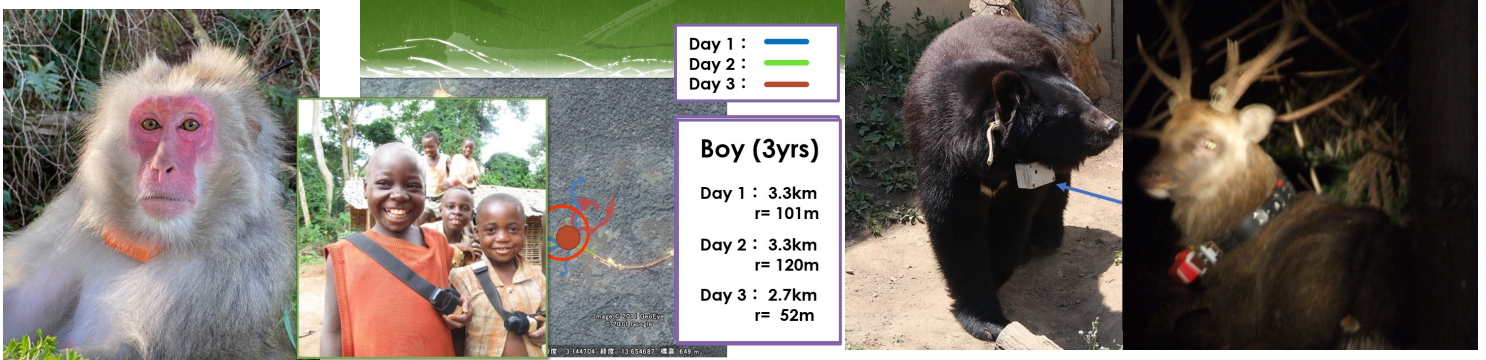
「～ニホンザル被害管理を考える～ 丹波篠山市ニホンザルエクスカージョン」

日時：2023年11月5日（日）13時～17時

会場：兵庫県丹波篠山市（集合場所：JR福知山線 篠山口駅東口）

発表や現地での説明は日本語で行われますが、英語で解説がつきます。

参加費：無料（要予約）先着順 15名まで



企画責任者 森光由樹（兵庫県立大学）

主催 科学研究費補助金基盤研究（S）「社会性の起原と進化」

共催 一般社団法人ニホンザル管理協会

後援 霊長類学会（担当：保全福祉委員会）、日本哺乳類学会

協力 日本哺乳類学会哺乳類保護管理専門委員会ニホンザル保護管理検討作業部会

■公開シンポジウム

「大型野生動物学と人類学のGPS・生体情報計測研究の最先端と今後の課題」

野生動物学および人類学の調査でGPS (Global Positioning System) や生体情報計測器が利用されている。これまで野生動物を直接観察し情報収集することは難しく、動物の位置や行動を把握することは困難であった。2000年代月上旬からGPS装置を動物に取り付けて、個体の移動や生息地の使用パターンを追跡する手法が開発された。個体の行動や生息地の利用範囲をより詳細に分析するためGIS用いて解析が行われている。また、生体情報計測器をGPS首輪に装着することで動物の活動パターンや生理学的な情報収集も進められている。

人類学では、人々の暮らし地域や社会構造を理解するためにGPSを使用して地理情報を収集している。これにより、村落や定住地の位置、移動パターン、交通ルートなどを把握し分析されている。ライフスタイルの研究は行動パターンや属性（年齢や性別など）による違いを理解するためにGPS・生体情報計測器を用いて人々の移動距離（歩数）や滞在場所・時間の把握等が行われている。野生動物学および人類学調査ではGPSや生体計測機材は重要なツールとして活用され多くの研究成果が報告されている。シンポジウムでは、野生動物学および人類学の調査で用いられているGPSや生体計測研究成果を報告し合い、それぞれの学問の情報を共有しながら今後の活用について議論する予定でいる。

■プログラム

13:00

挨拶 河合香吏 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
趣旨説明 森光由樹 (兵庫県立大学)

1) 大型野生動物ツキノワグマ・ニホンジカのGPS・生体情報計測研究

13:30 「ツキノワグマにバイオリギング機材を取り付けてみたら」

山崎晃司(東京農業大学)

14:10 「GPSを用いたニホンジカ研究」

瀧井暁子(信州大学)

休憩 10分

2) 霊長類およびヒトのGPS・生体情報計測研究研究

15:00 「霊長類学（ニホンザル）GPS・首輪型ウェブカメラを用いた研究と課題」

森光由樹 (兵庫県立大学)

15:40 「人間の行動をハカル：時空間利用から栄養適応へ」

山内太郎 (北海道大学)

16:20 総合討論

17:00 終了

18:00～ 情報交換会 (神戸元町駅周辺を予定)

■公開シンポジウム 「～ニホンザル被害管理を考える～ 丹波篠山市ニホンザルエクスカージョン」

これまでニホンザルによる農業被害は、「何をやってもダメ」「獲っても、獲ってもサルが次々と山から降りてくる」「行政は何もやってくれない」といった被害農家の諦め
の声が多く聞こえていた。しかし、近年、サルの管理手法が開発され被害地域で確立さ
れつつある。「個体数管理」と「被害防除」を組み合わせることで被害が減少している
地域がある。エクスカージョンでは、着実に成果を上げている丹波篠山市のサルの被害
防除の成功事例を紹介する。また、地域住民が主体となって実施している取り組みや考
えについても紹介し、今後、里山に生息しているサルとヒトとの関わり方について考え
る。

世話人

森光由樹（兵庫県立大学）

鈴木克哉（NPO法人里地里山問題研究所）

清野未恵子（神戸大学）



■プログラム

- 13:00 篠山口駅 集合・移動
- 13:30. 丹波篠山市のニホンザル管理と被害の現況
群れ搜索・電波を受信し直接観察（篠山C群）
- 14:20 追い払い実演、電気柵と捕獲檻説明 ※地域の方も同行
～サルに効果的な電気柵「おじろ用心棒」の効果と維持管理～
～ICT捕獲檻を活用したニホンザルの計画的な個体数管理～
- 15:10 地元住民によるサル対策（地元住民による説明）
～地域との意見交換会、感想共有～
- 16:30. 終了・移動
- 17:00 解散（JR篠山口駅）